

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		男女共同参画社会の形成の促進に関する施策の総合かつ計画的な推進				
評価方式		○総合・実績・事業	政策目標の達成度合い	相当程度進展あり	番号	11-①
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度概算要求額
予算 の 状 況	当初予算（千円）	291,822	319,690	392,049	731,909	978,397
	補正予算（千円）	400,000	299,862	303,967	0	
	繰越し等（千円）	-273,829	98,885	90,501		
	計（千円）	417,993	718,437	786,517		
		<417,993>	<718,437>	<786,517>		
執行額（千円）		334,692	584,414	658,217		
政策評価結果の概算要求への反映状況		政策評価実施予定時期が平成32年度中を予定しており、現時点での概算要求への反映は行えないものの、より効率的・効果的に事業を実施するため、必要な経費と削減可能な経費を精査するとともに、男女共同参画社会形成の促進に必要な所要額を要求している。				

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		仕事と生活の調和の推進				
評価方式		総合	政策目標の達成度合い	相当程度進展あり	番号	11-②
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度概算要求額
予算 の 状 況	当初予算（千円）	29,620	22,831	22,768	28,482	30,764
	補正予算（千円）	0	-1,006	6,333	0	
	繰越し等（千円）	0		0		
	計（千円）	29,620	21,825	29,101		
		<0>	<0>	<0>		
執行額（千円）		18,210	15,084	18,297		
政策評価結果の概算要求への反映状況		政策評価実施予定時期が平成33年度中を予定しており、現時点での概算要求への反映は行えないものの、各事業の進捗管理及び事業の目的を踏まえた効率的な予算執行を継続する。また、平成30年度概算要求においても、前述を踏まえた見直しなどを検討したうえで、予算額を計上している。				

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		東日本大震災による女性の悩み・暴力に関する相談事業				
評価方式		総合・実績事業	政策目標の達成度合い	目標達成	番号	11-③
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度概算要求額
予算の状況	当初予算（千円）	69,547	66,504	50,059	35,414	21,813
	補正予算（千円）					
	繰越し等（千円）					
	計（千円）	69,547	66,504	50,059		
		<69,547>	<66,504>	<50,059>		
執行額（千円）		56,452	47,924	40,407		
政策評価結果の概算要求への反映状況		被災3県における地元行政機関の相談機能の回復を図るため、臨時相談窓口の設置、相談員の育成・研修等を実施してきたところ。評価結果においては目標を達成しており、かつ、他の指標（相談件数）が減少傾向にあることから、臨時措置としての当該事務については縮小及び既存の地方行政機関への円滑な移行を行うとともに、予算要求額を縮減する反映を行った。（△13,601千円）				

政策評価調書（個別票2）

政策名	男女共同参画社会の形成の促進					番号	11		(千円)
	予 算 科 目						予 算 額		
	整理番号	会計	組織／勘定	項	事項	29年度 当初予算額	30年度 概算要求額		
対応表において●となっているもの	●	11	一般	内閣本府	男女共同参画社会形成促進費	男女共同参画社会の形成に必要な経費	760,391	1,009,161	-
	●	11	復興特別会計	復興庁	地域活性化等復興政策費	男女共同参画社会の形成の促進に必要な経費	35,414	21,813	-13,601
	●	3							
	●	4							
	小計						795,805	1,030,974	-13,601
対応表において◆となっているもの	◆	1	一般	〇〇本省	◆◆特別会計へ繰入	◆◆特別会計へ繰入に必要な経費			
	◆	2							
	◆	3							
	◆	4							
	小計						〇〇〇,〇〇〇 <〇〇,〇〇〇>の内数	〇〇〇,〇〇〇 <〇〇,〇〇〇>の内数	
対応表において○となっているもの	○	1	一般	〇〇本省	〇〇研究費	〇〇研究に必要な経費	< >	< >	
	○	2					< >	< >	
	○	3					< >	< >	
	○	4					< >	< >	
	小計						〇〇〇,〇〇〇 <〇〇,〇〇〇>の内数	〇〇〇,〇〇〇 <〇〇,〇〇〇>の内数	
対応表において◇となっているもの	◇	1	一般	〇〇本省	独立行政法人■■■運営費	独立行政法人■■■運営費交付金に必要な経費	< >	< >	
	◇	2	一般	〇〇本省	独立行政法人■■■施設整備費	独立行政法人■■■施設整備に必要な経費	< >	< >	
	◇	3					< >	< >	
	◇	4					< >	< >	
	小計						〇〇〇,〇〇〇 <〇〇,〇〇〇>の内数	〇〇〇,〇〇〇 <〇〇,〇〇〇>の内数	
合計						795,805 の内数	1,030,974 の内数	-13,601	

## 政策評価調書（個別票3）

## 【見直しの内訳・具体的な反映内容】

政策名	男女共同参画社会の形成の促進				番号	11	(千円)
事務事業名	整理番号		予算額			政策評価結果の反映による見直し額(削減額)	政策評価結果の概算要求への反映内容
			29年度当初予算額	30年度概算要求額	増△減額		
男女共同参画社会の形成の促進に関する施策の総合的かつ計画的な推進	●	11	731,909	978,397	246,488	-	政策評価実施予定時期が平成32年度中を予定しており、現時点での概算要求への反映は行えないものの、より効率的・効果的に事業を実施するため、必要な経費と削減可能な経費を精査するとともに、男女共同参画社会形成の促進に必要な所要額を要求している。
仕事と生活の調和の推進	●	11	28,482	30,764	2,282	-	政策評価実施予定時期が平成33年度中を予定しており、現時点での概算要求への反映は行えないものの、各事業の進捗管理及び事業の目的を踏まえた効率的な予算執行を継続する。また、平成30年度概算要求においても、前述を踏まえた見直しなどを検討したうえで、予算額を計上している。
東日本大震災による女性の悩み・暴力に関する相談事業【復興庁予算】	●	11	35,414	21,813	△ 13,601	△ 13,601	被災3県における地元行政機関の相談機能の回復を図るため、臨時相談窓口の設置、相談員の育成・研修等を実施してきたところ。評価結果においては目標を達成しており、かつ、他の指標（相談件数）が減少傾向にあることから、臨時措置としての当該事務については縮小及び既存の地方行政機関への円滑な移行を行うとともに、予算要求額を縮減する反映を行った。（△13,601千円）
合計						△ 13,601	